

ココフリ

～第12号～

きょうせい まな むげんだい
-共生、学びは無限大- 福島市心のバリアフリー
推進キャッチフレーズ

< 令和6年11月発行 >

福島市共生社会推進課
〒960-8601

福島市五老内町3番1号

TEL 024(572)3948

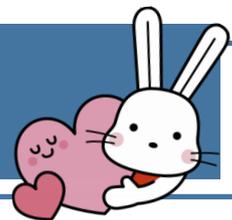
FAX 024(535)7970

HP <https://www.city.fukushima.fukushima.jp>

fukushima.fukushima.jp

令和6年度

バリアフリー推進パートナーミーティング開催報告



今年度は、【誰にでもやさしい コミュニケーション】をテーマに開催し、官民合わせて**78名**が参加しました。“手話”と“やさしい日本語”に注目し、普段からできるコミュニケーションの工夫や心がけについて、共に学びを深めました！

市の取り組み説明 ▶▶

福島市パートナーシップ・ファミリーシップ制度について

この制度の目的は、当事者同士の関係性を尊重すること、そして、性的少数者に対する無理解、差別や偏見といった心のバリアを取り除き、誰もが自分らしく、安心して暮らせる共生社会の実現を目指すことです。



制度の背景や目的を「知ること」は、心のバリアフリーの第一歩です★

手話講演&講座 ▶▶

手話講演『わたしたちの暮らしと手話言語 -ミニ手話講座-』

聴覚障害当事者である講師に“手話”で講演いただきました。基本のあいさつを含む**12**の手話表現を教わりました！



コミュニケーションの工夫

- ・肩を優しく叩き、視界に入ってから伝える
- ・テレビの音声や電話、サイレンなど、音の情報の見える化
- ・メール・FAX・電話リレーサービスの活用 など



手話を日常言語として暮らす方は、市内におよそ**150**人いらっしゃるそうです。来年はデフリンピックも開催されますね！お互いに工夫して伝え合いましょ★



やさしい日本語 ▶▶

やさしい日本語セミナー

外国の方、高齢者や子ども、障がいのある方など、誰にでもわかりやすい日本語の表現について学びました！

やさしい日本語のポイント

- ・熟語や敬語はつかわず、簡単な単語をつかう
- ・一文を短くする など



近年の傾向として、英語より“やさしい日本語”のほうが理解しやすいという外国人が増えているそうです★



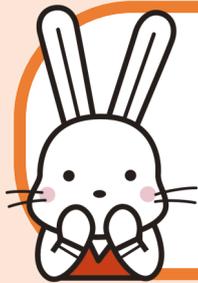
当日の写真や詳しい内容は市HPに掲載しています！



左記QRコードよりぜひご覧ください！

▲福島市HP





探してみよう 🔍 一人ひとりにできること

10月は福島市心のバリアフリー推進強化月間でした。取り組みの中から、「できること」を探してみましよう！

心のバリアフリー推進隊によるPR活動

市民の皆さんへ、「いつでもどこでも実践できる」心のバリアフリーの行動を掲載した啓発うちわをお渡しし、心のバリアフリーのPR活動を行いました！

★10/6(日)
福島ユナイテッドFCホームゲーム
@とうほうみんなのスタジアム

★10/27(日)
いきいき！ふくし秋祭り
@福島駅東口前



心のバリアフリー啓発動画公開

心のバリアフリー推進隊の学生達と一緒に、「心のバリアフリー啓発動画」を作成しました！ことばの意味やヘルプマークについて誰にでもわかりやすい表現を心掛けました。



駅前や庁舎内のビジョンでも放映しています！
みなさんもうご覧になりましたか??



QRコードからも動画
をご覧いただけます！



福島市公式YouTube⇒



「知ること」と「気づくこと」が心のバリアフリーの第一歩です！
心のバリアフリー推進強化月間をきっかけに、
自分にできることから、自分のペースで、はじめてみましょう！

ここフリ第13号は
令和7年1月頃 発行予定！

バックナンバー
はこちら⇒

